

## 第1日目 7月19日(金)

## 第1会場(1F 大ホール)

## 開会式

9:50~10:00

## 総大会長講演

合同企画

10:00~10:30

## PL1 「新時代」へのコンパス—不安の受容と新しいリカバリーが描く未来—

座長

神庭 重信

日本うつ病センター / 飯田病院 / 九州大学

演者

中尾 智博

九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学

## 海外招聘講演 1

JACT

11:10~12:10

## IL1 CBT in Practice

座長

大野 裕

大野研究所

演者

Allen R. Miller

Executive Director, Beck Institute for Cognitive Behavior Therapy

## ランチョンセミナー 1

12:30~13:20

## LS1 強迫症における認知行動療法の現状と課題、そしてこれから

座長

松永 寿人

兵庫医科大学 医学部 精神科神経科学講座

演者

向井馨一郎

兵庫医科大学 医学部 精神科神経科学講座

【共催】 emol 株式会社

## 特別講演 1

JACT

13:30~14:30

## SL1 進化を続けるうつと不安の認知行動療法

座長

佐渡 充洋

慶應義塾大学 保健管理センター

演者

大野 裕

大野研究所

シンポジウム 1 不安症

14:40~16:10

## 社交不安症の神経・認知・行動療法の展開

座長熊野 宏昭 早稲田大学 人間科学学術院  
金井 嘉宏 東北学院大学 人間科学部 心理行動科学科

## SY1-1 不安と身体内部状態への気づき

寺澤 悠理 慶應義塾大学 文学部 心理学専攻

## SY1-2 眼球情報と経頭蓋静磁場刺激を活用した自己注目の理解と支援

富田 望<sup>1,2)</sup>

1) 実践女子大学 人間社会学部、2) 早稲田大学 総合研究機構

## SY1-3 社交不安症に対するコンパッションに基づいた介入の可能性

金井 嘉宏  
東北学院大学 人間科学部 心理行動科学科指定討論

吉永 尚紀 宮崎大学 医学部 看護学科

シンポジウム 2 JACT

16:20~17:50

## CBTにおける「認知」と「行動」

座長中尾 智博 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学  
藤澤 大介 慶應義塾大学 医学部 医療安全管理部/精神神経科

## SY2-1 行動療法の立場から「認知」と「行動」について

芝田寿美男  
福岡赤十字病院 精神科

## SY2-2 ベックの認知療法における認知と行動

藤澤 大介  
慶應義塾大学 医学部 医療安全管理部/精神・神経科

## SY2-3 行動活性化療法における「認知」と「行動」

神人 蘭<sup>1)</sup>、高垣 耕企<sup>2)</sup>1) 医療法人社団えとむ会 神人クリニック  
2) 広島大学 保健管理センター

## SY2-4 二重プロセス理論からみるマインドフルネス認知療法における意識化（気づき）

佐渡 充洋<sup>1,2,3)</sup>1) 慶應義塾大学 保健管理センター  
2) 慶應義塾大学 医学部 精神神経科学教室  
3) 慶應義塾大学 マインドフルネス&ストレス研究センター指定発言

大野 裕 大野研究所

## イブニングセミナー 1

18:00~18:50

## ES1 オレキシンの役割を再考する ~発達障害の睡眠障害を中心に~

座長

中尾 智博 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学

演者

牧之段 学 藤田医科大学 精神神経科学講座

【共催】MSD 株式会社

## 第2会場（1F 中ホール 1-2）

## 第24回日本認知療法・認知行動療法学会大会長講演

JACT

10:30～11:00

## PL2 地域包括ケアの最前線となる看護師の認知行動療法提供者としての未来

座長

藤澤 大介

慶應義塾大学 医学部 医療安全管理部 / 精神神経科

演者

白石 裕子

令和健康科学大学 看護学部 看護学科 精神看護学

## ランチョンセミナー 2

12:30～13:20

## LS2 忘れ去られていた不安症：全般不安症（GAD）

座長

渡邊衡一郎

杏林大学 医学部 精神神経科学教室

演者

塩入 俊樹

岐阜大学大学院 医学系研究科 精神医学分野

【共催】 ヴィアトリス製薬合同会社 メディカル・アフェアーズ統括部

## 教育講演 1

JACT

13:30～14:30

## EL1 成人期の ADHD の認知行動療法

座長

丹野 義彦

東京大学 名誉教授

演者

中島 美鈴

独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター 臨床研究部

## シンポジウム 3

不安症

14:40～16:10

## 新規強迫症治療の現在とこれから：新たなアプローチの可能性を考える

座長

松永 寿人

兵庫医科大学 医学部 精神科神経科学講座

中尾 智博

九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学

## SY3-1 グルタミン酸系作動薬などの新規薬物療法の現在とこれから

村山桂太郎

九州大学病院 精神科神経科

## SY3-2 認知行動療法の現在とこれから

久能 勝<sup>1,2,3)</sup>

1) 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

2) 平安堂こころのクリニック

3) 九州大学大学院 医学研究院

## SY3-3 ニューロモデュレーション治療応用の現在とこれから

阿部 能成<sup>1,2)</sup>、井川 春樹<sup>1,2,3)</sup>

1) 杉本医院からすまメンタルクリニック

2) 京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学

3) 東京横浜 TMS クリニック

## SY3-4 強迫症の治療用アプリ開発の現在とこれから

向井馨一郎、松永 寿人

兵庫医科大学 精神科神経科学講座

## シンポジウム 4 合同企画

16:20~17:50

### 不安の受容～森田療法とマインドフルネス療法の観点から～

座長 久我 弘典 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

#### SY4-1 森田療法からみた「不安の受容」～あるがままの観点から～

久保田幹子<sup>1,2)</sup>

- 1) 法政大学大学院 人間社会研究科 臨床心理学専攻
- 2) 東京慈恵会医科大学 森田療法センター

#### SY4-2 不安の受容～マインドフルネス療法の観点から～

二宮 朗<sup>1,2)</sup>

- 1) 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室
- 2) 慶應義塾大学 マインドフルネス & ストレス研究センター

指定討論 黒木 俊秀 中村学園大学 教育学部

## イブニングセミナー 2

18:00~18:50

### 就労支援における VR を活用した対人コミュニケーションプログラム

座長 渡邊衡一郎 杏林大学 医学部 精神神経科学教室

#### ES2-1 就労支援における社会認知の重要性とVRを活用した感情認知トレーニング

演者 芳賀 大輔 就労移行支援 ONE MORE 豊中

#### ES2-2 リワークセンターにおける FACEDUO の活用方法

演者 秋山 洸亮 医療法人くすのき会 南飯能病院

【共催】大塚製薬株式会社

## 第3会場 (1F 中ホール 3)

第16回日本不安症学会学術大会大会長講演 不安症 10:30~11:00

## PL3 過剰適応と見捨てられ不安：承認欲求がもたらすワークストレス

座長 佐々木 司 東京大学大学院 教育学研究科 健康教育学分野演者 岩永 誠 広島大学大学院 人間社会科学研究科教育講演 2 JACT 11:10~12:10

## EL2 学校の中での認知行動療法

座長 中川 敦夫 聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室演者 石川 信一 同志社大学 心理学部

## ランチョンセミナー 3 12:30~13:20

## LS3 10代のメンタルヘルス：精神科医と学校の連携に向けて

座長 清水 栄司 千葉大学大学院 医学研究院 認知行動生理学演者 佐々木 司 東京大学大学院 教育学研究科 健康教育学分野

【共催】持田製薬株式会社 / 田辺三菱製薬株式会社

教育講演 3 JACT 13:30~14:30

## EL3 デジタル・メディシンと認知行動療法

座長 岡田 佳詠 国際医療福祉大学 成田看護学部演者 菊地 俊暁 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

## シンポジウム 5

合同企画

14:40~16:10

子どもの不安と抑うつに対する認知行動療法—多様な文脈における適応のプロセスを語る—

座長

岸田 広平

関西学院大学 文学部

石川 信一

同志社大学 心理学部

SY5-1 文化に適合した認知行動療法の展開—異なる文脈で介入を機能させるには—

笹川 智子

目白大学 心理学部

SY5-2 児童青年版統一プロトコルの日本文化への適応

藤里 紘子

関西大学 社会学部 社会学科

SY5-3 学級規模で行う認知行動療法プログラムの文化適応：  
フィンランドでの適応を通して

石川 信一

同志社大学 心理学部

SY5-4 多様な年齢や文脈における学校での CBT の適応

松原 耕平

聖泉大学 人間学部

## シンポジウム 6

JACT

16:20~17:50

認知行動療法専門医を考える

座長

大久保 亮

北海道大学病院 精神科神経科

三田村康衣

国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

SY6-1 認知行動療法認定医：制度の概要

三田村康衣、久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

SY6-2 認知行動療法認定医：申請の実際

上川 康友

市立室蘭総合病院 精神科

SY6-3 認知行動療法認定医：申請の実際

鈴木 宗幸

恵愛会 福間病院

SY6-4 認知行動療法認定医：今後の展望

大久保 亮

北海道大学病院 精神科神経科

## イブニングセミナー 3

18:00~18:50

ES3 不安症：診断・研究・治療の "Up-to-Date"

座長

朝倉 聡

北海道大学 保健センター

演者

塩入 俊樹

岐阜大学大学院 医学系研究科 精神医学分野

【共催】 Meiji Seika ファルマ株式会社

## 第4会場 (1F 小講堂)

## シンポジウム 7

合同企画

10:50~12:20

## 日常臨床にリカバリーの発想を活かす - これまでと何が違うのか -

座長

菊地 俊暁

慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

## SY7-1 不安を抱く人に対してリカバリーの発想を活かすには

菊地 俊暁

慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

## SY7-2 集団療法におけるリカバリー志向のアプローチ

三田村康衣<sup>1)</sup>、梅本 育恵<sup>1)</sup>、片柳 章子<sup>1)</sup>、井上 真里<sup>1)</sup>、加藤 愛理<sup>1)</sup>、千葉 裕之<sup>1)</sup>、  
伊藤 愛<sup>2)</sup>、上原 陽子<sup>1)</sup>、山本 洋美<sup>1,3)</sup>、朝海 摂<sup>2)</sup>、浪久 悠<sup>2)</sup>、吉村 直記<sup>2)</sup>、  
菊池安希子<sup>4)</sup>、久我 弘典<sup>1)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

2) 国立精神・神経医療研究センター病院

3) 横浜創英大学

4) 武蔵野大学 人間科学部

## SY7-3 外来診療にリカバリーの発想を活かすには

松本 和紀<sup>1)</sup>、村田 礼仲<sup>1)</sup>、平間亜由美<sup>1)</sup>、佐藤 弥生<sup>1)</sup>、高橋真理子<sup>1)</sup>、柏葉 祐佳<sup>1,2)</sup>、  
東海林 渉<sup>1,3)</sup>、金井 嘉宏<sup>1,3)</sup>、濱家由美子<sup>1,4)</sup>

1) こころのクリニックOASIS

2) 仙台白百合学園中学・高等学校

3) 東北学院大学 人間科学部 心理行動科学科

4) 東北大学 災害科学国際研究所 災害医学研究部門 災害精神医学分野

## SY7-4 統合失調症研究による認知行動療法の発展から振り返る、いち精神科医の日常臨床の変化

耕野 敏樹<sup>1,2)</sup>

1) 岡山大学学術研究院 社会文化科学学域 (文学部)

2) 岡山県精神科医療センター

指定討論

徳山 明広

一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん

## シンポジウム 8

JACT

14:40~16:10

## 認知行動療法の医学教育パスウェイ：行動科学から専門医育成まで

座長

藤澤 大介

慶應義塾大学 医学部 医療安全管理部 / 精神神経科

中川 敦夫

聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室

## SY8-1 世界認知行動療法連合学会 (WCCBT) トレーニングガイドライン

藤澤 大介

慶應義塾大学 医学部 医療安全管理部 / 精神・神経科

## SY8-2 行動科学と日本認知・行動療法学会の認知行動療法トレーニングガイドライン

清水 栄司

千葉大学大学院 医学研究院 認知行動生理学

## SY8-3 卒前教育における行動科学・認知行動療法の位置づけと教育法

菊地 俊暁

慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

## SY8-4 プライマリケアにおける行動療法・認知行動療法の意義と教育

家 研也

聖マリアンナ医科大学 総合診療内科

## SY8-5 わが国における認知行動療法専門医育成の現状と今後の展望に関して

久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

## シンポジウム 9

合同企画

16:20~17:50

## わが国における不安症・強迫症の診療ガイドライン

座長

松永 寿人

兵庫医科大学 医学部 精神科神経科学講座

朝倉 聡

北海道大学 保健センター

## SY9-1 わが国における不安症・強迫症の診療ガイドライン：パニック症

塩入 俊樹

岐阜大学大学院 医学系研究科 精神医学分野

## SY9-2 わが国における社交不安症の診療ガイドライン

朝倉 聡

北海道大学 保健センター

## SY9-3 強迫症 (OCD) 治療ガイドラインの臨床的実践

松永 寿人

兵庫医科大学 医学部 精神科神経科学講座

## SY9-4 わが国の全般不安症 (GAD) の診療ガイドライン

大坪 天平

東京女子医科大学附属足立医療センター 心療・精神科

## 第5会場 (2F 会議室 1-2)

## ランチョンセミナー 4

12:30~13:20

## LS4 DSM-5 うつ病特定用語「不安性の苦痛」をどう考え、いかに評価するか

座長

大坪 天平

東京女子医科大学附属足立医療センター 心療・精神科

演者

櫻井 準

杏林大学 医学部 精神神経科学教室

【共催】大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部

## シンポジウム 10

不安症

16:20~17:50

社交不安を伴うひきこもりへの多様な支援：

古典的精神分析から最新の認知行動療法・メタバース・VR まで

座長

加藤 隆弘

九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学

## SY10-1 社交不安向け WEB 認知療法 (iCT-SAD) が奏功したひきこもり当事者の事例

吉永 尚紀

宮崎大学 医学部 看護学科

## SY10-2 社交不安を伴うひきこもり当事者と家族への新しい支援：メタバースと VR の活用

久保 太聖<sup>1)</sup>、浅海久美子<sup>2)</sup>、佐藤 郁<sup>3)</sup>、松島 敏夫<sup>1,3)</sup>、平河 則明<sup>1,3)</sup>、  
三淵 啓自<sup>4)</sup>、林 裕子<sup>5)</sup>、中尾 智博<sup>1,3)</sup>、浅海 道子<sup>2)</sup>、加藤 隆弘<sup>1,3)</sup>

1) 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学

2) 特定非営利活動法人 JACFA

3) 九州大学病院 精神科神経科

4) デジタルハリウッド大学院大学

5) 山口大学大学院 技術経営研究科

SY10-3 社交不安を伴うひきこもり当事者への古典的な週 4 回カウチの精神分析：  
「死の欲動 (Death Drive)」を運転すること

加藤 隆弘

九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学

## 第6会場 (1F 105 セミナー室)

## シンポジウム 11

不安症

10:50~12:20

## 社交不安症診療を学ぼう

~多職種に知ってもらいたい病態と診療ガイドラインに基づく治療介入~

## A パート：社交不安症とその診療ガイドラインを学ぶ

司 会

朝倉 聡 北海道大学 保健センター

概要説明

山田 恒 兵庫医科大学 精神科神経科学講座

## SY11-1 診断と鑑別

三井 信幸

北海道大学大学院 医学研究院 神経病態学分野 精神医学教室

## SY11-2 治療導入と心理教育

金井 嘉宏

東北学院大学 人間科学部 心理行動科学科

## SY11-3 薬物療法

藤井 泰

北海道立向陽ヶ丘病院

## SY11-4 精神療法

吉永 尚紀

宮崎大学 医学部 看護学科

## B パート：症例検討を通じてガイドラインの使い方を学ぶ

司 会

山田 恒 兵庫医科大学 精神科神経科学講座

解 説

朝倉 聡 北海道大学 保健センター

## SY11-5 症例とディスカッションポイント提示

大井 一高

岐阜大学大学院 医学系研究科 精神医学

## ランチョンセミナー 5

12:30~13:20

## LS5 統合失調症における社交不安の改善とリカバリーの達成

座 長

神庭 重信 九州大学 / 日本うつ病センター / 飯田病院

演 者

根本 隆洋 東邦大学 医学部 精神神経医学講座・社会実装精神医学講座

【共催】日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

## ケーススタディ 1

JACT

13:30~14:30

CS1 処理速度が遅いことによる不安焦燥が強い ADHD の方に対して、  
ワークブックを用いて CBT を行った症例

座 長

金澤潤一郎 北海道医療大学 心理科学部

演 者

金織 来多 うえむらメンタルサポート診療所

シンポジウム 12 合同企画

14:40~16:10

多職種交流連携委員会企画

## 地域で実践する多職種によるアウトリーチの CBT

座長

吉内 一浩

東京大学医学部附属病院 心療内科

話題提供

白石 裕子

令和健康科学大学 看護学部 看護学科 精神看護学

## SY12-1 訪問看護師がつなぐ地域連携としての認知行動療法

中野真樹子<sup>1,2)</sup>

1) 笑む笑む訪問看護ステーション、2) 就労移行支援 Dream Up

SY12-2 訪問看護で CBT を取り入れた支援の実際  
～外出恐怖が強い不安神経症の利用者の支援～

諏訪原加奈子

株式会社 エデュコ エデュコ訪問看護ステーション

SY12-3 認知行動療法（7コラム法）におけるアプリと紙媒体での実践効果比較  
～40代うつ病の利用者家族に対して～

岡田 将太

株式会社エデュコ リアンドファミリー訪問看護ステーション

SY12-4 一般総合病院で実践される多職種による職場復帰・就労継続のための  
集団認知行動療法大谷 真<sup>1,2,3)</sup>

1) 山王病院 心療内科

2) 国際医療福祉大学 医学部 心療内科学

3) NTT 東日本関東病院 心療内科・精神神経科

シンポジウム 13 JACT

16:20~17:50

## 看護基礎教育における認知行動療法理論を活用した看護実践者の育成と課題

座長

齋藤 嘉宏

令和健康科学大学 看護学部 看護学科

## SY13-1 看護学生への認知行動療法に関する教育の理想と現実のはざままで

林 佑太

神戸大学大学院 保健学研究科

SY13-2 精神看護ケアとしての認知行動療法の活用を目指して  
～マインドフルネスを看護実践者が活用することの意味

江口 実希

神戸常盤大学 保健科学部 看護学科

SY13-3 講義・演習・実習における認知行動理論の教授  
一対象との協同関係構築に着目して一

根本 友見

国際医療福祉大学 成田看護学部

## SY13-4 抽象と具象を行き来するケア

則包 和也

香川県立保健医療大学

## 第7会場 (1F 102 講義室)

### ケーススタディ 2

JACT

13:30~14:30

#### CS2 否定的な自己認知、反すうが根強く認知行動療法に難渋したうつ病の一例

座長

徳山 明広

一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん

演者

鈴木 宗幸

恵愛会 福間病院

### シンポジウム 14

JACT

14:40~16:10

#### 中堅医師、看護師、心理師による認知行動療法の実践および後進の教育に関する取り組み

座長

松岡 潤

おぐメンタルクリニック

大久保 亮

北海道大学病院 精神科神経科

#### SY14-1 雪国の田舎で認知行動療法セラピストを育てること

渋谷 直史

医療法人 SMC 酒田駅前メンタルクリニック

#### SY14-2 地方の単科精神科病院で行う認知行動療法～ CBT セラピスト育成の試み

天野 瑞紀、田口 芳江、城戸 俊介、渡邊 幸恵

医療法人社団つくば健仁会 とよさと病院

#### SY14-3 看護師による認知行動療法が臨床現場に浸透することを目指して

林 佑太

神戸大学大学院 保健学研究科

#### SY14-4 認知行動療法をどう学び、どう教えているのか

— 私設心理相談室で働く中堅心理師の立場から —

荒木 睦美

ごきそカウンセリングオフィス

## ポスター会場 (2F 多目的ホール)

※演題番号の末尾 A : 日本不安症学会

演題番号の末尾 J : 日本認知療法・認知行動療法学会

## ポスター 1

13:30~15:00

## 診断

## P001A 適応障害は、「うつ病・不安症・危険行動」と遺伝的にどの程度共通しているのか？

大井 一高<sup>1,2)</sup>、藤兼 大輔<sup>1)</sup>、蔵満彩結実<sup>1)</sup>、高井健太郎<sup>1)</sup>、武藤 恭昌<sup>1)</sup>、  
杉山 俊介<sup>1)</sup>、塩入 俊樹<sup>1)</sup>

1) 岐阜大学大学院 医学系研究科 精神医学

2) 金沢医科大学 総合内科

## P003A 不安や不眠を抱える外来患者の治療継続要因

高塩 理、鎌田 行識、戸田 重誠、富田 秋沙、大野 泰裕、柳原 榛華、  
田崎 太郎、城井 正彦、青柳 啓介、對馬早希子

昭和大学病院附属東病院 精神神経科

## ポスター 2

13:30~15:00

## 治療

## P005J 開業カウンセリングルームでの個人カウンセリングのアウトカム

本園 羊司

TRACE 高宮

## P007J 精神症へのグループ・コンパッション・フォーカスト・セラピーの有用性についての検討

池田 直矢<sup>1)</sup>、矢野 健一<sup>1)</sup>、藤枝由美子<sup>1)</sup>、清水希実子<sup>1)</sup>、東山 美恵<sup>1,2)</sup>、斎藤 萌子<sup>1,2)</sup>、  
株元 麻美<sup>1)</sup>、岸本 直子<sup>1)</sup>、辻本 由佳<sup>2)</sup>、森田健太郎<sup>1,3)</sup>

1) 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部 精神科デイホスピタル

2) 東京大学医学部附属病院 精神神経科

3) 東京大学医学部附属病院 看護部

## P009J 曝露反応妨害法を拒否する難治性の強迫症患者に対する認知的介入が奏効した 1 症例

吉田 賀一<sup>1)</sup>、飯島 華怜<sup>2)</sup>、櫻井 正彦<sup>2)</sup>、前林 憲誠<sup>2)</sup>、松永 寿人<sup>1,2)</sup>

1) 兵庫医科大学病院 臨床心理部、2) 兵庫医科大学 精神科神経科学講座

## P011A 不安症患者に対する動画学習を用いた認知行動療法的アプローチの実践

平川 沙織<sup>1)</sup>、田中優希菜<sup>1)</sup>、江頭 伸哉<sup>1)</sup>、瀬浦まどか<sup>1)</sup>、茂籠裕美子<sup>1)</sup>、景山名菜子<sup>1)</sup>、  
楠 無我<sup>1)</sup>、稲田 礼子<sup>1)</sup>、瀬浦 敏志<sup>2)</sup>、稲田 泰之<sup>1)</sup>

1) 医療法人悠仁会 稲田クリニック、2) 医療法人悠仁会 北浜クリニック

## P013A 成人の神経発達症を併存する強迫症の治療

岡嶋 美代<sup>1,2)</sup>、藤田 基<sup>1)</sup>

1) 道玄坂ふじたクリニック、2) BTC センター

## P015A 保険者データベースを用いた不安症や強迫症治療における認知行動療法算定数に関する調査

向井馨一郎、細井 幸彦、櫻井 正彦、荻野 俊、林田 和久、松永 寿人

兵庫医科大学 精神科神経科学講座

## ポスター 3

13:30~15:00

## 身体疾患

## P017J COVID-19 後遺症における希死念慮：大規模レジストリからの縦断データ解析の洞察

高松 直岐、千葉 裕之、梅本 育恵、野網 恵、近藤 真前、鬼頭 伸輔、  
久我 弘典  
国立精神・神経医療研究センター

## ポスター 4

13:30~15:00

## 精神疾患

## P019J 日本の認知行動療法 (CBT) 研修事業における受講者の治療効果と CBT スキルの検証

伊原 栄<sup>1)</sup>、片山奈理子<sup>1)</sup>、野上 和香<sup>1)</sup>、天野 瑞紀<sup>1)</sup>、野田 祥子<sup>1)</sup>、小林 由季<sup>1)</sup>、  
小澤 満玲<sup>1)</sup>、内田 裕之<sup>1)</sup>、大野 裕<sup>2)</sup>、中川 敦夫<sup>3)</sup>  
1) 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室  
2) 大野研究所  
3) 聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室

P021J うつ病の認知行動療法による持続性効果：  
ポジティブな未来性思考の経時的な変化の検討

天野 瑞紀<sup>1)</sup>、片山奈理子<sup>1)</sup>、小林 由季<sup>1)</sup>、小澤 満玲<sup>1)</sup>、梅田 聡<sup>3)</sup>、寺澤 悠理<sup>3)</sup>、  
田淵 肇<sup>1)</sup>、菊地 俊暁<sup>1)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>、内田 裕之<sup>1)</sup>、中川 敦夫<sup>2)</sup>  
1) 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室  
2) 聖マリアンナ医科大学 精神神経科  
3) 慶應義塾大学 文学部 心理学研究室

## P023J 広場恐怖症に対する構造化された森田療法の実践 - 4 例の報告

中尾 重嗣<sup>1)</sup>、山市 大輔<sup>2)</sup>、横山貴和子<sup>2)</sup>、中村 充宏<sup>3)</sup>、新村 秀人<sup>4)</sup>  
1) 浜田山メンタルクリニック  
2) 慶應義塾大学 医学部 精神神経学教室  
3) しなのメンタルクリニック  
4) 大正大学 臨床心理学部

## P025J 大学生の時間管理プログラムの作成

中島 美鈴<sup>1)</sup>、渡邊慶一郎<sup>2)</sup>、若杉 美樹<sup>2)</sup>  
1) 肥前精神医療センター 臨床研究部、2) 東京大学 相談支援研究開発センター

## ポスター 5

13:30~15:00

## 症例報告

## P027A 不安抑うつ発作が観察された境界性パーソナリティ障害

三塚志歩子、貝谷 久宣  
医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック

**P029A 交際相手との問題を機に発症した広場恐怖を伴うパニック障害に対して、マニュアルに沿った森田療法を適応した青年期の症例**横山貴和子<sup>1)</sup>、山市 大輔<sup>1)</sup>、中尾 重嗣<sup>2)</sup>、新村 秀人<sup>1,3)</sup>

1) 慶應義塾大学 医学部 精神神経学教室

2) 浜田山メンタルクリニック

3) 大正大学 臨床心理学部

**ポスター 6**

13:30~15:00

**脳画像研究****P031A 安静時 fMRI を用いた強迫症の機能的結合と視空間認知の検討**aximu nadire<sup>1,2)</sup>、Siti Nurul Zhahara<sup>2,3)</sup>、和 俊冰<sup>2,3)</sup>、平野 好幸<sup>2,3)</sup>、  
清水 栄司<sup>1,2,3)</sup>

1) 千葉大学大学院 医学研究院 認知行動生理学

2) 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

3) 大阪大学大学院 連合小児発達学研究所

**P033A パニック症における大脳領域間の機能的結合異常**佐々木 亮<sup>1)</sup>、高石 政男<sup>1)</sup>、中村 亮太<sup>2)</sup>、吉田 晴久<sup>3)</sup>、吉見 明香<sup>4)</sup>、浅見 剛<sup>2)</sup>

1) 横浜市立大学大学院 医学研究科 精神医学

2) 横浜市立大学 医学部 精神医学

3) しぶここクリニック

4) 横浜市立大学附属市民総合医療センター

**ポスター 7**

13:30~15:00

**評価****P035A ためこみ症患者における認知的柔軟性**松隈 航、村山桂太郎、豊見山泰史、指方 賢太、首藤 愛佳、Kang Minji、  
土岩 志保、加藤 研太、松尾 陽、西田 奈美、中尾 智博

九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学

**P037A 不安症および関連症群面接マニュアル (ADIS-5) の妥当性の検討****—PTSD 症状と関連指標との関係—**有光 興記<sup>1)</sup>、関谷 祐史<sup>1)</sup>、梶本 誠人<sup>1)</sup>、井上 美沙<sup>1)</sup>、中野 麗羽<sup>1)</sup>、貝谷 久宣<sup>2)</sup>

1) 関西学院大学

2) 医療法人和楽会、パニック症研究センター

**ポスター 9**

13:30~15:00

**疫学研究****P039A 自殺企図と精神疾患および中間的表現型との遺伝的相関**

藤兼 大輔、大井 一高、蔵満彩結実、高井健太郎、武藤 恭昌、杉山 俊介、

塩入 俊樹

岐阜大学大学院 医学系研究科 精神医学分野

**P041A 思春期における睡眠時間と希死念慮・自傷行為の縦断的関連**

周 瑞、西田明日香、小川佐代子、東郷 史治、佐々木 司  
 東京大学 教育学研究科

**P043A 子供の心理社会的発達に母親の強迫症症状、特に巻き込み行為が及ぼす影響に関する多角的検討**

荻野 俊、細井 幸彦、櫻井 正彦、向井馨一郎、林田 和久、松永 寿人  
 兵庫医科大学 精神神経科学講座

**ポスター 10**

13:30~15:00

**学校****P045A 中高生の自殺リスク早期発見に向けた学校教員が実施するスクリーニング検査—試験的実装の結果と展望—**

湯川充佑子<sup>1,2)</sup>、日下 桜子<sup>1)</sup>、佐々木 司<sup>1)</sup>  
 1) 東京大学 教育学研究科、2) 日本学術振興会特別研究員 DC

**ポスター 12**

13:30~15:00

**産業・ストレスマネジメント****P047J マインドフルネスの継続を支援するウェブサイトの作成および運用の可能性に関する探索的検証**

後藤 菜穂<sup>1,3)</sup>、山田 成志<sup>1,3)</sup>、永岡 麻貴<sup>1,3)</sup>、二宮 朗<sup>1,3)</sup>、佐渡 充洋<sup>2,3)</sup>  
 1) 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室  
 2) 慶應義塾大学 保健管理センター  
 3) 慶應義塾大学 マインドフルネス&ストレス研究センター

**ポスター 13**

13:30~15:00

**教育・研修****P049J 認知行動療法研修受講後の評価：実施，スキルの活用，相談体制の枠組みに関する研究**

野網 恵、近藤 真前、三田村康衣、梅本 育恵、高松 直岐、大井 瞳、  
 伊藤 正哉、久我 弘典  
 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

**P051J 集団認知行動療法実践者養成プログラムの効果検討—6ヶ月後のデータ分析から—**

根本 友見<sup>1)</sup>、岡田 佳詠<sup>1)</sup>、藤澤 大介<sup>2)</sup>、天野 敏江<sup>1)</sup>、中島 美鈴<sup>3)</sup>、高橋 章郎<sup>4)</sup>、  
 岡島 美朗<sup>5)</sup>、田村 法子<sup>2)</sup>、大嶋 伸雄<sup>6)</sup>、吉永 尚紀<sup>7)</sup>、丹野 義彦<sup>8)</sup>  
 1) 国際医療福祉大学  
 2) 慶應義塾大学  
 3) 肥前精神医療センター  
 4) 東京都立大学大学院  
 5) 自治医科大学附属さいたま医療センター  
 6) 大阪河崎リハビリテーション大学  
 7) 宮崎大学  
 8) 東京大学

## ポスター 14

13:30~15:00

## デジタル・ICT

P053J オンラインビデオカウンセリングにおける「セラピストに対する印象」予測モデル：  
顔表情と音声特徴を用いた機械学習アプローチ

横山 仁史<sup>1)</sup>、伊藤 大輔<sup>2)</sup>、村山 孝之<sup>3)</sup>、村上 健<sup>4,5)</sup>、千葉 宏毅<sup>6)</sup>、  
川守田拓志<sup>4,5)</sup>、市倉加奈子<sup>4,7)</sup>

- 1) 新潟大学 人文社会科学系人文学部
- 2) 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科
- 3) 金沢大学大学院 人間社会環境研究科
- 4) 北里大学大学院 医療系研究科
- 5) 北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科
- 6) 北里大学 医学部 医学教育研究部門
- 7) 北里大学 医療衛生学部 保健衛生学科

## ポスター 15

13:30~15:00

## その他

## P055A 会食恐怖症の実態とその特徴について—文献レビューによる検討—

伊藤 知也、尾形 明子  
広島大学 人間社会科学研究科

## P057A 社交不安者に対する教示がビデオ通話内セルフビューの回避度に与える影響

柳田 綾香<sup>1)</sup>、七森 真央<sup>1)</sup>、富田 望<sup>2)</sup>、熊野 宏昭<sup>3)</sup>

- 1) 早稲田大学大学院 人間科学研究科
- 2) 東京学芸大学 教育心理学講座
- 3) 早稲田大学 人間科学学術院

7月20日(土)  
第1会場(1F 大ホール)

特別講演 2 JACT 9:00~10:00

SL2 認知療法・認知行動療法について

座長 久我 弘典 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター  
演者 田中 増郎 厚生労働省 社会・援護局 精神・障害保健課

海外招聘講演 2 不安症 10:20~11:20

IL2 Improving access to evidence-based treatments using digital tools:  
Opportunities and challenges

座長 中尾 智博 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学  
演者 David Mataix-Cols Professor, Department of Clinical Neuroscience, Karolinska Institutet

ランチョンセミナー 6 12:00~12:50

LS6 将来を見据えたうつ病の薬物療法 - S-RIM と SSRI のそれぞれの有用性 -

座長 中尾 智博 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学  
演者 高塩 理 昭和大学病院附属東病院 精神神経科

【共催】武田薬品工業株式会社 / ルンドベック・ジャパン株式会社

日本認知療法・認知行動療法学会 総会 JACT 13:00~14:00

特別講演 3 合同企画 14:20~15:20

SL3 精神科臨床におけるスピリチュアルケアについて

座長 中尾 智博 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学  
演者 神庭 重信 日本うつ病センター / 飯田病院 / 九州大学

特別講演 4 合同企画 15:40~16:40

SL4 臨床におけるネガティブ・ケイパビリティとセレンディピティ

座長 中尾 智博 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学  
演者 松木 邦裕 ちはやACTクリニック / 京都大学

特別講演 5 合同企画

16:50~17:50

SL5 —— スーパービジョン～不安への援助をテーマに

座長 中尾 智博 —— 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学

演者 神田橋 條治 —— 医療法人有隣会 伊敷病院

諸般の事情により、当講演は中止となりました

閉会式

18:50~19:00

## 第2会場 (1F 中ホール 1-2)

## 特別講演 6

不安症

9:00~10:00

SL6 不安抑うつ発作を確認できればリストカットや市販薬乱用の治療がより効果的になる

座長

佐々木 司

東京大学 教育学研究科 健康教育学分野

演者

貝谷 久宣

医療法人和楽会 パニック症研究センター

## シンポジウム 15

不安症

10:10~11:40

疾患啓発・生涯教育委員会企画

多職種・多領域で取り組む不安症の啓発と治療～実際に認知行動療法は普及しているか？

座長

稲田 泰之

医療法人悠仁会 稲田クリニック

不安症の啓発と認知行動療法の普及における現状と課題ーシンポジウムの導入として

話題提供

稲田 泰之

医療法人悠仁会 稲田クリニック

SY15-1 多職種・多領域で取り組む不安症の啓発と治療

～実際に認知行動療法は普及しているか？ー精神科医の立場からー

山田 恒

兵庫医科大学 精神科神経科学講座

SY15-2 プライマリ・ケア医からみた不安症と認知行動療法の現状と課題、精神科医療への要望

家 研也<sup>1,2)</sup>

1) 聖マリアンナ医科大学 総合診療内科、2) 川崎市立多摩病院 総合診療内科

SY15-3 看護師が提供する不安症への認知行動療法の現状と今後の普及に向けた課題

吉永 尚紀

宮崎大学 医学部 看護学科

SY15-4 心理職の教育と臨床での不安症

石川 信一

同志社大学 心理学部

## ランチョンセミナー 7

12:00~12:50

LS7 異質性・多様性に富むうつ病へのアプローチ - 不安症状を中心に -

座長

塩入 俊樹

岐阜大学大学院 医学系研究科 精神医学分野

演者

坪井 貴嗣

杏林大学 医学部 精神神経科学教室

【共催】 ヴィアトリス製薬合同会社

日本不安症学会 総会・2023年度日本不安症学会学術賞 受賞講演

不安症

13:00~14:00

社交不安症に対する個人認知療法は前頭皮質と視床の安静時脳機能結合を低下させる

座長

井上 猛

東京医科大学 精神医学分野

演者

栗田 幸平<sup>1,2)</sup>

1) 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

2) 大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 小児発達神経学領域

シンポジウム 16 合同企画

14:20~15:50

## 身体症状症と不安と発達特性～認知行動療法の観点を含めて～

座長

清水 栄司

千葉大学大学院 医学研究院 認知行動生理学

富永 敏行

京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学

## SY16-1 身体不安の訴え - 発達特性を加味した認知行動モデル -

富永 敏行

京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学

## SY16-2 自閉スペクトラム症児にみられる不安と身体症状

林田 圭祐

京都府立こども発達支援センター

## SY16-3 身体症状症の発達特性と性格特性

三好 未来

千葉大学 先端医学薬学府 医科学専攻

## SY16-4 身体症状症（慢性疼痛）に対する認知行動療法

高梨利恵子<sup>1,2)</sup>

1) 放送大学 教養学部、2) 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

シンポジウム 17 不安症

16:10~17:40

## 脳科学の基礎

座長

平野 好幸

千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

毛内 拓

お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系

SY17-1 ゲノム情報に基づくパニック症診断の可能性  
～機械学習を活用した種々のポリジェニックスコアの組合せ～

大井 一高

岐阜大学大学院 医学系研究科 精神医学

## SY17-2 健康な脳機能を守り、支える脳のアナログ伝達機構

毛内 拓

お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系

## SY17-3 不安症に関する認知神経科学の展開

富田 望<sup>1,2)</sup>

1) 実践女子大学 人間社会学部、2) 早稲田大学 総合研究機構

SY17-4 強迫症や不安症における脳画像研究の動向：  
機能的MRIや拡散テンソル画像を中心に池水 結輝<sup>1,2)</sup>

1) 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

2) 千葉大学大学院 医学研究院 認知行動生理学

## イブニングセミナー 4

18:00~18:50

## ES4 動画で学ぶ 発展するうつと不安の認知行動療法

座長

渡邊衡一郎

杏林大学 医学部 精神神経科学教室

演者

大野 裕

大野研究所

【共催】塩野義製薬株式会社

## 第3会場 (1F 中ホール 3)

### 教育講演 4

JACT

9:00~10:00

#### EL4 子どもの PTSD へのトラウマフォーカスト認知行動療法

座長

石川 信一

同志社大学 心理学部

演者

亀岡 智美

兵庫県こころのケアセンター

### シンポジウム 18

JACT

10:10~11:40

#### アクションへの認知行動療法

座長

中島 美鈴

独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター 臨床研究部

#### SY18-1 患者さんから学ぶ、「古いけど新しい」アルコール依存症の集団認知行動療法 (CBT)

福嶋 翔<sup>1,2)</sup>

1) 厚生会 道ノ尾病院 精神科、2) 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

#### SY18-2 ゲーム障害の予防と重症化を防ぐために一成人期・学童期支援事例をもとにした保護者向け予防教育プログラムの作成

谷川 芳江

カウンセリングルーム River UNB 住吉神社前クリニック

#### SY18-3 ギャンブル障害の認知と行動 ~ 当院の治療プログラム「脱カケゴト組」の実践例から ~

金織 来多

うえむらメンタルサポート診療所

#### SY18-4 スマホで時間を溶かす大人への CBT

中島 美鈴

独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター 臨床研究部

指定討論

藤澤 大介

慶應義塾大学 医学部 医療安全管理部 / 精神神経科

### ランチョンセミナー 8

12:00~12:50

#### 認知症と不眠症

座長

吉村 玲児

産業医科大学 医学部 精神医学教室

#### LS8 安全性を考慮した老年期不眠症治療のありかた

演者

小原 知之

九州大学病院 精神科神経科

【共催】 エーザイ株式会社

シンポジウム 19 不安症

14:20~15:50

## Virtual reality exposure を用いた社交不安症治療の実際

座長

貝谷 久宣

医療法人和楽会 パニック症研究センター

福井 至

東京家政大学 人文学部 心理カウンセリング学科

## SY19-1 社交不安症における近年の VR エクスポージャー研究と有用性

城月健太郎

武蔵野大学 人間科学部

## SY19-2 スピーチ場面における VR および現実エクスポージャーの社交不安に対する心理指標の比較

渡邊美紀子

武蔵野大学大学院 人間社会研究科

## SY19-3 Virtual reality exposure を用いた社交不安症治療の実際

福井 健人

株式会社魔法アプリ

## SY19-4 VR エクスポージャーの効果判定に適した質問紙について

野口 恭子<sup>1)</sup>、福井 至<sup>1,2)</sup>、山口 英里<sup>1)</sup>、藤井 智賀<sup>1)</sup>、川崎奈緒子<sup>1)</sup>、松元 智美<sup>1)</sup>、三塚志歩子<sup>1)</sup>、松田 尚美<sup>1)</sup>、本田 由美<sup>1)</sup>、野口 陽南<sup>3)</sup>、貝谷 久宣<sup>4)</sup>

1) 医療法人和楽会 心療内科・神経科赤坂クリニック

2) 東京家政大学大学院

3) 株式会社コペル

4) 医療法人和楽会 パニック症研究センター

指定討論

中尾 睦宏

昭和大学 ストレスマネジメント研究所

吉永 尚紀

宮崎大学 医学部 看護学科

## シンポジウム 20 JACT

16:10~17:40

### コロナや災害から見据える今後の心理支援のあり方 - 誰一人取り残さない被災者支援を目指して -

座 長 久我 弘典 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

#### SY20-1 最近の災害対応の現状と精神・心理的支援

高橋 晶<sup>1,2,3)</sup>

- 1) 筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学
- 2) 茨城県立こころの医療センター
- 3) 筑波メディカルセンター病院 精神科

#### SY20-2 令和6年能登半島地震災害における児童・生徒への心理支援

池田 美樹

桜美林大学 リベラルアーツ学群

#### SY20-3 災害とサイコロジカルファーストエイド・ジョンズホプキンスガイド

村山桂太郎

九州大学病院 精神科神経科

#### SY20-4 感染症流行下や災害下における、認知行動療法の考えに基づいたデジタルメンタルヘルスの活用：遠隔対応型メンタルヘルスシステム「KOKOROBO」

久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

指定討論 田中 増郎 厚生労働省 社会・援護局 精神・障害保健課  
松本 和紀 こころのクリニックOASIS

## イブニングセミナー 5

18:00~18:50

座 長 中尾 智博 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学

#### ES5 双極症と統合失調症治療に関する最近の知見

演 者 寺尾 岳 大分大学 医学部 精神神経医学講座

【共催】住友ファーマ株式会社

## 第5会場 (2F 会議室 1-2)

## 第11回「認知療法研究」最優秀論文賞受賞 記念講演

JACT

9:20~10:00

## 日本の女子大学生における食行動異常の二過程モデルの検討

座長

佐渡 充洋

慶應義塾大学 保健管理センター

演者

上田紗津貴

京都文教大学 臨床心理学部

## シンポジウム 21

JACT

10:10~11:40

## CBT 的アプローチを活用している薬剤師への期待と課題～薬剤師・患者・心理士の立場から～

座長

前田 初代

日本大学 薬学部 薬学研究所

田沼 和紀

株式会社カメガヤ (フィットケアデポ)

## SY21-1 一般病棟患者に対して CBT の考え方をういた服薬支援を実施する中で見えてきた課題

小川 恭平

京都府立医科大学附属北部医療センター 薬剤部

## SY21-2 薬について不安の強い患者に対する CBT 的アプローチの事例から今、薬局薬剤師が求められている課題を探る

浅井香奈枝

株式会社 マリンファーマシー ひかり薬局

## SY21-3 慢性疾患患者の心理への理解と対応 薬剤師が活かせる実践ポイント

崇黒慎太郎

神戸女子大学 心理学部 心理学科

## SY21-4 アレルギー患者家族として薬剤師の対応に期待すること

栗田 祥子

NPO 法人アレルギーを考える母の会

指定討論

富永 敏行

京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学

## ランチョンセミナー 9

12:00~12:50

## LS9 精神疾患の多因子性について

座長

久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

演者

神庭 重信

飯田病院 / 日本うつ病センター

【共催】 ウェルビー株式会社

## シンポジウム 22 JACT

14:20~15:50

### 公認心理師の資格を持つ看護師の CBT による心理的援助実践の可能性

座長 白石 裕子 令和健康科学大学 看護学部 看護学科 精神看護学

#### SY22-1 精神科病棟看護師が考察するダブルライセンスを活用した患者支援

板橋朱麻留  
公益財団法人 井之頭病院

#### SY22-2 ダブルライセンスを活かした CBT による心理的援助の実践

手島 直美  
福岡県立精神医療センター 太宰府病院

#### SY22-3 当院における発達障害短期治療プログラム「じぶん研究会」の実践報告

金織 来多  
うえむらメンタルサポート診療所

#### SY22-4 公認心理師と看護師で連携して実施する精神科病院外来における認知行動療法

田上 博喜  
宮崎大学 医学部 看護学科

指定討論 丹野 義彦 東京大学 名誉教授

## シンポジウム 23 JACT

16:10~17:40

看護師部会企画

### 看護実践の未来を描くコンパス—CBT がもたらすさらなる発展

座長 岡田 佳詠 国際医療福祉大学 成田看護学部  
吉永 尚紀 宮崎大学 医学部 看護学科

#### SY23-1 双極性障害患者への短期集団認知行動療法プログラムの開発

岡田 佳詠  
国際医療福祉大学 成田看護学部

#### SY23-2 双極症の入院認知行動療法 —その人らしい生活を送るための看護支援—

森内加奈恵  
千葉大学医学部附属病院 看護部

#### SY23-3 セルフヘルプアプリに取り組む当事者へ看護師ができること

田上 博喜  
宮崎大学 医学部 看護学科

#### SY23-4 看護師の心のサポート：ChatGPT による新時代のメンタルケア

氏家 好野  
株式会社 Plusbase

## 第 6 会場 (1F 105 セミナー室)

## シンポジウム 24

合同企画

10:10~11:40

## 急増する不登校を考える

座 長

山田 和夫

横浜尾上町クリニック

本山 修

長崎県スクールカウンセラー

## SY24-1 特別支援学校高等部における言行一致訓練を用いた再登校支援事例と特別支援学校における心理教育の必要性について

門脇 陽一

兵庫県立こやの里特別支援学校

## SY24-2 学校教育における心理的柔軟性の必要性

小笹 大道<sup>1,2)</sup>

1) 立命館小学校、2) 立命館大学大学院 人間科学研究科 博士課程後期課程

## SY24-3 中学生の不登校に対する養護教諭、校長としての対応と対策

譜久山文野

茅ヶ崎市立円蔵中学校

## SY24-4 児童思春期の不登校の病理と治療 — COVID-19 禍で—

山田 和恵

横浜尾上町クリニック

## シンポジウム 25

JACT

14:20~15:50

## 精神科病院における重度精神障害者への認知行動的アプローチ

座 長

松本 和紀

こころのクリニックOASIS

## SY25-1 統合失調症の多様な状態像に応じるための認知行動療法のアプローチとは

耕野 敏樹<sup>1,2)</sup>

1) 岡山大学学術研究院 社会文化科学学域 (文学部)

2) 岡山県精神科医療センター

## SY25-2 東尾張病院における実践～心理職からのアプローチ～

古村 健

国立病院機構東尾張病院

## SY25-3 自治体精神科病院における精神看護専門看護師が行う認知行動療法の実際

北野 進

東京都立松沢病院 専門人材育成研修センター

指定討論

菊池安希子

武蔵野大学 人間科学部

## 第7会場 (1F 102 講義室)

## ケーススタディ 3

JACT

9:10~10:10

CS3 社交不安症に伴う抑うつ状態にて休職に至った 30 代女性が  
サポートつきインターネット認知療法に取り組んだ一例

座長 村山桂太郎 九州大学病院 精神科神経科  
 演者 林 佑太 神戸大学大学院 保健学研究科

## ケーススタディ 4

JACT

10:20~11:20

## CS4 たびたび死にたいと発作様になるうつ病の女性に認知行動療法を実施した症例

座長 中野 有美 南山大学 人文学部 心理人間学科 / 保健センター  
 演者 小澤 満玲<sup>1)</sup>、中川 敦夫<sup>2)</sup>  
 1) 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室  
 2) 聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室

## シンポジウム 26

JACT

14:20~15:50

## 短時間診療に活かす認知行動療法

座長 徳山 明広 一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん  
 久我 弘典 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

## SY26-1 動画を用いて限られた時間でも実施できる効率型認知行動療法

梅本 育恵<sup>1,2)</sup>、三田村康衣<sup>1,2)</sup>、上原 陽子<sup>1,3)</sup>、山本 洋美<sup>1,4)</sup>、伊藤 愛<sup>1,2,5)</sup>、  
 久我 弘典<sup>1,2)</sup>  
 1) 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター  
 2) 東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科 医学系専攻博士課程連携大学院 脳病態制御学  
 3) 東日本矯正医療センター  
 4) 横浜創英大学  
 5) 国立精神・神経医療研究センター病院

## SY26-2 日常臨床における認知行動療法的な問いかけについて

樽谷精一郎  
 大阪精神医学研究所 新阿武山病院

## SY26-3 4A ステップによる短時間 CBT

徳山 明広  
 一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん

## SY26-4 アスピレーションを日常臨床に取り入れる

林 竜也  
 医療法人心葉会 林こころのクリニック

指定発言 大野 裕 大野研究所

## シンポジウム 27 JACT

16:10~17:40

### 反芻に取り組む：その神経基盤から臨床応用まで

座長

中川 敦夫

聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室

梅垣 佑介

奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究科

#### SY27-1 反すうとその支援法における心理学的背景

梅垣 佑介

奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究科

#### SY27-2 反芻思考を理解する～脳神経学的視点から～

片山奈理子

慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

#### SY27-3 反すうをどう扱うか～日々の臨床から RFCBT まで

満田 大

慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

#### SY27-4 適応反応症に反芻焦点化認知行動療法 RFCBT を応用する

中川 敦夫

聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室

## ポスター会場 (2F 多目的ホール)

※演題番号の末尾 A：日本不安症学会

演題番号の末尾 J：日本認知療法・認知行動療法学会

### ポスター 1

13:30~15:00

#### 診断

P002A 演題取下げ

P004A 成人強迫症患者における認知特性の Wechsler Adult Intelligent Scale3 による検討

細井 幸彦、向井馨一郎、荻野 俊、林田 和久、松永 寿人  
兵庫医科大学 精神科神経科

### ポスター 2

13:30~15:00

#### 治療

P006J 当院のリワークプログラムにおける認知行動療法の試みについて

山口 皓平、兵頭 俊次、山口 文、明石みやび、渡部亜矢子、山内 宏治  
宇和島病院

P008J 減薬を希望している不安が強い患者（不安神経症）に対して  
認知行動療法的服薬指導（認知再構成法）を行った症例

柴田 征良  
二日市那珂川病院 薬剤部

P010A 外来心療内科クリニックにおけるポリヴェーガル理論に基づく集団プログラムの効果

本田 由美<sup>1)</sup>、貝谷 久宣<sup>1,2)</sup>  
1) 医療法人 和楽会 赤坂クリニック  
2) 医療法人 和楽会 パニック症研究センター

P012A 「広場恐怖に対する外来森田療法治療マニュアル」作成の試み

新村 秀人<sup>1,2)</sup>、山市 大輔<sup>2)</sup>、横山貴和子<sup>2)</sup>、中尾 重嗣<sup>3)</sup>、森田 正哉<sup>4)</sup>、中村 充宏<sup>5)</sup>、  
北西 憲二<sup>6,7)</sup>  
1) 大正大学 臨床心理学部  
2) 慶應義塾大学 医学部 精神神経科学教室  
3) 浜田山メンタルクリニック  
4) 三島森田病院  
5) しなのメンタルクリニック  
6) 北西クリニック  
7) 森田療法研究所

P014A 子どもの反抗挑発症に対する認知行動療法プログラム  
—怒りに特徴的な認知の変容可能性—

岸田 広平<sup>1,2)</sup>、佐藤 寛<sup>1)</sup>、石川 信一<sup>3)</sup>  
1) 関西学院大学 文学部  
2) 日本学術振興会  
3) 同志社大学 心理学部

**P016A 青年の社会適応のための認知行動療法：  
社交不安のエクスポージャーに加えてソーシャルスキル獲得に着目した事例**

河上 雄紀

長岡ヘルスケアセンター（長岡病院） 心理課

**ポスター 4**

13:30~15:00

**精神疾患**

**P018J うつ病患者における抑うつ的反芻思考と気質・性格と性差に関する検討**

野田 祥子<sup>1)</sup>、片山奈理子<sup>1)</sup>、野上 和香<sup>1)</sup>、天野 瑞紀<sup>1,2)</sup>、伊原 栄<sup>1,3,4)</sup>、  
小林 由季<sup>1)</sup>、満田 大<sup>1)</sup>、倉田 知佳<sup>1)</sup>、佐々木洋平<sup>1)</sup>、竹村 亮<sup>5)</sup>、内田 裕之<sup>1)</sup>、  
中川 敦夫<sup>1,6)</sup>

- 1) 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室
- 2) とよさと病院
- 3) 東京足立病院
- 4) 東大宮メンタルクリニック
- 5) 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター
- 6) 聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室

**P020J 演題取下げ**

**P022J 日本語版 Child Anxiety Life Interference Scale child version 作成の試み**

城月健太郎<sup>1)</sup>、西内 基紘<sup>2)</sup>、佐々木洋平<sup>1)</sup>、中尾 睦宏<sup>3)</sup>、Heidi Lyneham<sup>4)</sup>、  
Ronald Rapee<sup>4)</sup>

- 1) 武蔵野大学 人間科学部
- 2) 武蔵野大学大学院 人間社会研究科
- 3) 昭和大学 ストレスマネジメント研究所
- 4) Lifespan Health and Wellbeing Research Centre, School of Psychological Sciences, Macquarie University

**P024J 身近な人とのコミュニケーションスキルに焦点づけた  
少年用大麻再乱用防止プログラムの作成 (2)**

中島 美鈴<sup>1)</sup>、平井 祥一<sup>2)</sup>、森 治美<sup>3)</sup>、嶋根 卓也<sup>4)</sup>

- 1) 肥前精神医療センター 臨床研究部
- 2) 福岡県保健医療介護部 薬務課
- 3) 福岡県警察本部 生活安全部少年課
- 4) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依存研究部

**P026J 就職活動中の大学生の ASD 傾向が回避行動に与える影響に対する  
不安コントロール感の媒介効果**

金澤潤一郎<sup>1)</sup>、奈良 隆義<sup>2)</sup>

- 1) 北海道医療大学 心理科学部
- 2) 北海道医療大学大学院 心理科学研究科

## ポスター 5

13:30~15:00

### 症例報告

#### P028A 幼少期逆境体験があり、広場恐怖症が慢性化している 30 歳代男性にマニュアルに沿った森田療法を行った 1 例

山市 大輔<sup>1)</sup>、横山貴和子<sup>1)</sup>、中尾 重嗣<sup>2)</sup>、新村 秀人<sup>1,3)</sup>

- 1) 慶應義塾大学 医学部 精神神経科学教室
- 2) 浜田山メンタルクリニック
- 3) 大正大学 臨床心理学部

#### P030A Ethyl loflazepate の内服中止により味覚障害が改善したうつ病患者の一例

村瀬 雄士<sup>1,2)</sup>、嶽北 佳輝<sup>1)</sup>、加藤 正樹<sup>1)</sup>

- 1) 関西医科大学 医学部 精神神経科学講座
- 2) 社会福祉法人青祥会 セフィロト病院

## ポスター 6

13:30~15:00

### 脳画像研究

#### P032A うつ病および社交不安症の低周波変動振幅と機能的結合の比較

和 俊冰<sup>1,2,3)</sup>、栗田 幸平<sup>1,3)</sup>、清水 栄司<sup>1,2,3)</sup>、平野 好幸<sup>1,3)</sup>

- 1) 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター
- 2) 千葉大学大学院 医学研究院 認知行動生理学
- 3) 大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 千葉校

## ポスター 7

13:30~15:00

### 評価

#### P034A 自己記入式 ORD-YBOCS 日本語版の作成と信頼性・妥当性の検討

佐野なな子<sup>1)</sup>、グリーンバーグ ジェニファー<sup>2,3)</sup>、吉田 沙蘭<sup>1)</sup>

- 1) 東北大学大学院 教育学研究科
- 2) マサチューセッツ総合病院
- 3) ハーバード大学医学大学院

#### P036A 不安抑うつ発作に関連する自己愛性および境界性パーソナリティ障害を同時に測定する評価尺度 (SSNB) の開発

松田 尚実<sup>1)</sup>、正木 美奈<sup>2)</sup>、小松 智賀<sup>1)</sup>、野口 恭子<sup>1)</sup>、川崎奈緒子<sup>1)</sup>、松元 智美<sup>1)</sup>、三塚志歩子<sup>1)</sup>、貝谷 久宣<sup>1,2)</sup>

- 1) 医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック
- 2) 医療法人和楽会 なごやメンタルクリニック

## ポスター 8

13:30~15:00

### 理論

#### P038J ポジティブな映像と抑うつの音楽の関係フレームづけに関する心理学的実験

高倉 雄大、小山憲一郎

福岡県立大学大学院 人間社会学研究科 心理臨床専攻

## ポスター 9

13:30~15:00

## 疫学研究

## P040A ためこみ症における併存症の調査

西田 奈美、村山桂太郎、豊見山泰史、指方 賢太、首藤 愛佳、姜 ミン志、  
土岩 志保、加藤 研太、松尾 陽、松隈 航、中尾 智博

九州大学病院 精神神経科 行動療法研究室

P042A 10代の子どもの親を対象とした精神保健リテラシー教育プログラムの効果検証  
—クラスターランダム化比較試験—

日下 桜子<sup>1)</sup>、湯川充佑子<sup>1)</sup>、Foo Jerome<sup>2,3,4)</sup>、山口 智史<sup>1)</sup>、東郷 史治<sup>1)</sup>、  
佐々木 司<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院 教育学研究科

2) Institute for Psychopharmacology, Medical Faculty Mannheim, Central Institute of Mental Health, University of Heidelberg, Mannheim, Germany

3) Department of Genetic Epidemiology in Psychiatry, Medical Faculty Mannheim, Central Institute of Mental Health, University of Heidelberg, Mannheim, Germany

4) Department of Psychiatry, College of Health Sciences, University of Alberta, Edmonton, Canada

## ポスター 10

13:30~15:00

## 学校

## P044A 高校生を対象とした不眠に関する調査研究

伊藤 友二<sup>1)</sup>、工藤 祥太<sup>2)</sup>、宮井 知之<sup>1)</sup>

1) 釧路赤十字病院 医療社会事業部

2) 釧路赤十字病院 看護部

## ポスター 11

13:30~15:00

## 健康増進・予防医学

## P046J 困難克服過程で受けた支えに対する感謝体験尺度作成の試み

下満 由貴<sup>1)</sup>、小山憲一郎<sup>2)</sup>

1) 福岡県立大学 心理教育相談室

2) 福岡県立大学大学院 人間社会学研究科

## ポスター 12

13:30~15:00

## 産業・ストレスマネジメント

## P048J 大学生の就職活動場面におけるストレスの緩和に関する研究

—ディタッチト・マインドフルネスとあいまいさへの非寛容に着目して—

竹田 健人<sup>1)</sup>、小山憲一郎<sup>2)</sup>

1) 九州大学大学院 人間環境学府 実践臨床心理学専攻

2) 福岡県立大学 人間社会学部

## ポスター 13

13:30~15:00

### 教育・研修

#### P050J 初学者のうつ病認知行動療法の円滑な導入と実施のためのコンサルテーション方法の検討：INITIATE 研究を通して

野上 和香<sup>1)</sup>、満田 大<sup>1)</sup>、天野 瑞紀<sup>1,4)</sup>、松岡 潤<sup>1,5)</sup>、加藤 典子<sup>6)</sup>、  
伊原 栄<sup>1,7)</sup>、小林 由季<sup>1)</sup>、小澤 満玲<sup>1)</sup>、片山奈理子<sup>1)</sup>、内田 裕之<sup>1)</sup>、  
中川 敦夫<sup>2,3)</sup>

- 1) 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室
- 2) 聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室
- 3) 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター
- 4) 医療法人社団つくば健仁会 とよさと病院
- 5) おぐメンタルクリニック
- 6) 国立精神・神経医療研究センター
- 7) 東京足立病院

## ポスター 14

13:30~15:00

### デジタル・ICT

#### P052J CT-R（リカバリーを目指す認知療法）の対話型 AI チャットボットへの適用

菱沼 まり<sup>1)</sup>、林 海斗<sup>1)</sup>、山本 弘樹<sup>1)</sup>、佐藤 玄基<sup>1)</sup>、山口美峰子<sup>1)</sup>、大野 裕<sup>2)</sup>

- 1) NEC ソリューションイノベータ株式会社
- 2) 大野研究所

## ポスター 15

13:30~15:00

### その他

#### P054A 小児期のいじめられた体験、神経症傾向、抑うつ的反すうが状態不安に与える影響について

大野 智也、栴屋 二郎、井上 猛  
東京医科大学病院

#### P056A 視線知覚と自己注目の関連の検討

七森 真央<sup>1)</sup>、柳田 綾香<sup>1)</sup>、富田 望<sup>2)</sup>、熊野 宏昭<sup>3)</sup>

- 1) 早稲田大学大学院 人間科学研究科
- 2) 東京学芸大学 教育心理学講座
- 3) 早稲田大学 人間科学学術院

#### P058A 抗不安薬エチゾラムの一般的イメージや不適切な使用実態を X（旧 Twitter）から読み解く—投稿内容に対する共起ネットワーク分析—

中谷 智美<sup>1)</sup>、鶴岡 未悠<sup>2)</sup>、福井 義一<sup>3)</sup>、澤田 戒<sup>1)</sup>

- 1) 甲南大学大学院 人文科学研究科
- 2) 株式会社ディー・オー・エス
- 3) 甲南大学

## 7月21日(日)

### 第1会場(1F 大ホール)

市民公開講座

合同企画

15:10~16:10

COL 源氏物語の凄さ

座長

中尾 智博

九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学

演者

帚木 蓬生

作家・精神科医

## WS1(1F 中ホール1)

ワークショップ1

JACT

9:00~12:00

第3世代のCBT ポジティブ手法の実践

演者

須賀 英道

龍谷大学短期大学部

ワークショップ2

JACT

13:30~15:00

看護師が実践するMCT

演者

則包 和也

香川県立保健医療大学

田上 博喜

宮崎大学 医学部 看護学科

北野 進

東京都立松沢病院 専門人材育成研修センター

## WS2(1F 中ホール2)

ワークショップ3

JACT

9:00~12:00

集団認知行動療法の基本ワークショップ

座長

藤澤 大介

慶應義塾大学 医学部 医療安全管理部/精神神経科

岡田 佳詠

国際医療福祉大学 成田看護学部

演者

藤澤 大介

慶應義塾大学 医学部 医療安全管理部/精神神経科

中島 美鈴

独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター 臨床研究部

岡田 佳詠

国際医療福祉大学 成田看護学部

田島 美幸

慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

田村 法子

慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室/医療教育統轄センター

高橋 章郎

東京都立大学 人間健康科学研究科

プログラム(3日目)

**ワークショップ 4** JACT

13:30~15:00

**短時間で行える、動画を用いた効率型認知行動療法 SCBT**

演 者	久我 弘典	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	梅本 育恵	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	徳山 明広	一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん
	奥村 貴子	一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん
	三田村康衣	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
ファシリテーター	駒沢あさみ	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	上原 陽子	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	山本 洋美	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	牧野みゆき	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	伊藤 愛	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

**WS3 (1F 中ホール 3)**

**ワークショップ 5** JACT

9:00~12:00

**リカバリーを目指す認知療法 (CT-R : Recovery-oriented Cognitive Therapy)**

演 者	Allen R. Miller	Executive Director, Beck Institute for Cognitive Behavior Therapy
	久我 弘典	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	菊池安希子	武蔵野大学 人間科学部
	徳山 明広	一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん
	耕野 敏樹	岡山大学学術研究院 社会文化科学学域 (文学部)
	林 竜也	医療法人心葉会 林こころのクリニック
通 訳	大野 裕	大野研究所
ファシリテーター	梅本 育恵	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	井上 真里	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	三田村康衣	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	山本 洋美	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	上原 陽子	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	伊藤 愛	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
	駒沢あさみ	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

プログラム (3日目)

## WS4 (2F 会議室 1-2)

## ワークショップ 6

JACT

9:00~12:00

## 幻聴への認知行動的アプローチ

演 者

古村

健

国立病院機構東尾張病院

## WS5 (1F 105 セミナー室)

## ワークショップ 7

合同企画

9:00~12:00

## 強迫症の認知行動療法ワークショップ

座 長

中川 彰子

千葉大学 医学部 認知行動生理学

## WS7-1 強迫症 総論 CBT を始める前に

豊見山泰史

九州大学病院 精神科

## WS7-2 マニュアルの使用上の留意点

中谷江利子

九州大学病院 精神科

## WS7-3 自閉スペクトラム症を基盤にもつ強迫症男児の症例検討会

芝田寿美男

福岡赤十字病院 精神科

久能 勝<sup>1,2)</sup>

1) 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

2) 九州大学大学院 医学研究院

加藤 奈子

千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

田村 真樹<sup>1,2)</sup>

1) 学会会木村病院

2) 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

## ワークショップ 8

JACT

13:30~15:00

## 認知行動療法におけるコミュニケーションの工夫

演 者

毛利 伊吹

上智大学 総合人間科学部 心理学科

## WS6 (1F 102 講義室)

### ワークショップ 9

合同企画

9:00~12:00

#### マインドフルネス認知療法 一脱中心化に理論と実践の両面からアプローチするー

座長

佐渡 充洋 慶應義塾大学 保健管理センター

演者

佐渡 充洋 慶應義塾大学 保健管理センター

永岡 麻貴 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

山田 成志 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

佐々木洋平<sup>1,2)</sup>

1) 武蔵野大学 人間科学部 人間科学科

2) 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

後藤 菜穂 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

二宮 朗 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

朴 順禮<sup>1,2,3)</sup>

1) 慶應義塾大学 看護医療学部

2) 慶應義塾大学 マインドフルネス&ストレスセンター

3) 慶應義塾大学病院 緩和医療センター

### ワークショップ 10

不安症

13:30~15:00

#### 不安症を有する様々な背景を持つ症例における薬物療法の注意点

座長

稲田 健 北里大学 医学部 精神科学

#### WS10-1 不安症を有する身体疾患合併症例に対する薬物療法の注意点

村岡 寛之 北里大学 医学部 精神科学

#### WS10-2 不安症を有する妊産婦症例に対する薬物療法の注意点

菊地 紗耶 東北大学大学院 医学系研究科 精神神経学分野

#### WS10-3 不安症を有する児童・思春期症例に対する薬物療法の注意点

河野 美帆 医療法人一誠会 都城新生病院 児童・思春期精神科

#### WS10-4 不安症に併存する不眠症状に対する薬物療法の注意点

松井健太郎 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部

#### WS10-5 不安症に対する薬物療法：頓服使用の際の留意点

市橋 香代 東京大学医学部附属病院 精神神経科